

Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2019年03月24日公開
(日本時間 3月25日 午前0時 = イスラエル時間 3月24日 午後5時)

.....
エルサレムよりシャローム。

私の後に映っているのは、壁紙ではありませんよ。本物のエルサレムの生映像です。

岩のドームが、私の指先にご覧いただけます。他の旧市街の壁は、こちらです。

私達は、南からエルサレムを見下ろすスタジオよりお届けしています。つい先ほど、今年と来年のコンファレンスのプロモーションビデオの撮影を終えたところで、ちょうどいい機会なので、このスタジオを使って、中東アップデートを行う事にしました。

トランプ大統領による「ゴラン高原が イスラエルの領土である」という、非常に重要な認識についてお話しします。また、それだけでなく、その認識がされた最中、ポンペオ長官がこちらイスラエルに居て、非常に大きな事が起こりましたが、メディアのほとんどが、完全にそれを黙殺しました。それについても、お話しします。それから、この決断が世界のほとんどから攻撃されていることについても、お話しします。今、ロシアがそれを調べています。この時点でロシアは、強く反対はしていませんが、これから、恐らく1週間後には、何かが起こるのを、私達は目にするでしょう。

皆さん、ベンジャミン・ネタニヤフ首相は、つい先ほど ワシントン DC に向けて出発しました。そこでトランプ大統領と会談し、その席上でトランプ大統領が、アメリカ合衆国は ゴラン高原がイスラエルの領土であると承認発表するとみられています。間違っははいけませんよ？

この52年間、イスラエルは ゴラン高原を統治して来たのです。

間違っははいけません。聖書的に ゴラン高原は、ヨルダン川の東側にあるイスラエルの2つと半部族の割り当て地です。マナセ族の片側の一部でした。間違っははいけません。考古学的に見つかっている物のほとんどは、イエスの時代の物でさえも、ゴラン高原から発見されたものは、実際に、ユダヤ教のシナゴークやユダヤ人の町です。イエスの時代以降ですら、ユダヤ人の存在がゴラン高原の至るところに見られます。

それから、間違っははいけません。

近代、バルフォア宣言と、サンレモ会議 の決議に従って、パレスチナ地方が「ユダヤ人の故国」として準備されている時も、その当時でさえ、ゴラン高原は英国の権限下の一部であり、そこに「ユダヤ人の故国」を備えることになっていたのです。しかし、英国とフランスが、自分達の都合で土地を交換しました。

イスラエルにも、ユダヤ人にも、それに関して同意するかどうかを問うていません。そして当然、国土のあの部分は、私達から取り除かれて、やがて フランスが シリアを独立させた時に、その場所も シリアに与えられました。ですからみなさん、

法的にも、歴史的にも、聖書的にも、ゴラン高原は間違いなくイスラエルの領土であって、トランプ大統領が数日前に行ない、ネタニヤフとの会談中に行うことは、ただ、明白な現状を認める事に過ぎません。

彼が「エルサレムは、イスラエルの首都である」と認識したのと同じです。今回 彼は「ゴラン高原が、イスラエルの領土である」と認識します。

それによって、何も変わる事はありません。イスラエルは この 52 年間ずっとあそこに居て、これからもあそこに留まる予定です。

しかし、間違っただけではありません。

聖書は、次の戦争がこの地域で起こると 予告しているのです。

そして、ゴラン高原の認識は、エルサレムの認識よりも、はるかにずっと一触即発の状態です。

エルサレムは「反キリスト」が関わるものです。そして、神殿が建つかどうかで、彼が何かを行います。しかし、ゴラン高原は、実際に ロシアを激怒させるもので、エゼキエルが 38 章、39 章で記している通り、北からあらゆる攻撃が襲います。そして、間違っただけではありません。

イランは 物理的に我々の国境に 存在する必要はないのです。

聖書は「エゼキエル戦争」のことを、北の果てから来る “地をおおう雲のよう”である、と描写しています。雲というのは 地上というより、何か空から来る事を意味します。

ですから、非常に興味深いことに、トランプ大統領の決断は、何か 衝動的に出た行動でもなければ、友人であるベンジャミン・ネタニヤフの 選挙を助けるためのものでもありません。選挙については、後ほどお話ししますが、皆さん、理解しておいてください。基本的にこれは、アメリカが イランを シリアから追い出す為の働きです。なぜなら イランが、シリアの不安定さの 最大原因ですから。

ただ 同時に、バッシュール・アサドが、これ以上 機能しないようにして、彼が置き換えられるようにしよう という考えもあるのです。皆さん、理解しておいてください。アメリカも、フランスも、英国も、ドイツも 合同声明を発表しています。内容は、あちらで決定的 かつ 包括的な 政治的プロセスがない限り、シリア復興には 資金援助を一切しない、というものです。つまり 彼らが意味しているのは、国連安保理決議に従って バッシュール・アサド が完全に権力から降りる事で、これは既に 2011 年から決まっているものです。もちろん、それは起こりません。本当のシリア復興は、実際には行われません。

するとロシアは、理解するでしょう。

もし、シリアが 戦利品の資源として十分でないなら、激減したロシアの金庫の中身を満たす為に、誰かが 必要な戦利品を 彼らに提供しなければならない。

彼らは、これまでに 10 億ドル近くを シリアに投資していますが、誰も それに対して 彼らに支払っていないのです。そして彼らは、その分の現金を回収せねばなりません。従って、ゴラン高原の地下に存在する石油とガスを、彼ら在必死で求めるのは、間違いありません。彼らは以前、既に言いました。

「シリアが安定すれば、我々は ゴラン高原をシリアの手に戻すよう 要求しようと考えている。」

皆さん、間違っただけではありませんよ？ それだけではありません。

皆さんがニュースで聞いているのとは違って、

アメリカは、中東のシリア北部、イラク西部に、さらに多くの兵士を送り、軍事的建造物を建てています。

アメリカは また、シリア沖の地中海に大勢力を派遣しています。フランスも、いくつかの戦艦を派遣しま

した。つまり シリア周辺全体に、東と西の両方から、現在、巨大軍事勢力が置かれているのです。全ては、バッシヤール・アサドを権力から追放する為、そして、イランをあそこから追い出す為です。

イランは現在、経済的にも軍事的にも 両面で非常に苦しんでいて、現地で 彼らは、次から次へと敗北して苦しんでいます。ヒズボラは、現金不足で大問題を抱えており、ヒズボラは、初めて 国中の国民から資金集めを行なっています。イランの金庫は枯渇していて、彼らには資金が必要です。その為、私達は、ヒズボラの大問題 を目にしてはいるだけでなく、イランにとっても 大問題なのです。

バッシヤール・アサドは、ロシアとイランの間で 引き裂かれています。もし仮に ロシアがいなければ、彼は、もう既に権力を失っていたでしょう。しかし、その一方で、もし イランが居なければ、アサドは、彼自身の宗派から “人道的” 支援を受けられませんでした。

また、私たちが理解しなければならないのは、イランは、バッシヤール・アサドが 彼らに多額の借金をしていると信じています。イランもまた 戦利品を狙っています。イランは、彼らがあちらに居る限り、バッシヤール・アサドに シーア派イスラムとしての 権力を保証する事ができ、そして また、イランは、ゴラン高原がシリアの手に戻る事を 保証出来ると理解しています。なぜなら イランは、あらゆる機会を利用して イスラエルを攻撃しますから。時に、パレスチナの名を利用して、また時にはシリア、時にはレバノンの名を使って、彼らは、我々を滅ぼす為なら何でも使います。

ロシアは、現在 バッシヤール・アサドと イランの間で 友好関係が増大している事が 気に入りません。彼らは、バッシヤール・アサドが シリアを出て、はるばるイランまで行き、2年前に 最高指導者ハーメネイーに会った事が、非常に不満です。

現時点では、アラブ界自身よりも 国際社会の方が、ゴラン高原をイスラエルの領土とした アメリカの認識を非難しています。国連人権理事は、即座に声明を発表して言いました。

「ここは、イスラエルの領土ではない。」

もちろん、欧州議会も同様に行いました。もちろん、ゴラン高原には ドゥルーズも居ますし、悪の枢軸 シリア、イラン、トルコも居て、彼らも同じ事を言っています。ただ、皆さんに言っておきます。

「エルサレムがイスラエルの首都であると認識すれば 世が終わる」と 世界が約束したが、終わらなかった。そのように、ゴラン高原も同じでした。

唯一、この2つの違いは、

エルサレムは ロシアの懐には触れないが、ゴラン高原は 確実にロシアの懐に影響し得るという事です。彼らは、自分達がまだシリアに居る間に、戦利品が欲しいですから。これは明確にしておくべきです。

さて、イスラエルの選挙まであと約2週間半になり、ベンジャミン・ネタニヤフへの敵対は前代未聞です。

一つ、説明します。

これは、治安部隊の中の同じ上層部です。 諜報社会の同じ上層部、メディア、エンターテインメント、司法社会の上層部たち。全てが アメリカ合衆国で ドナルド・トランプに行ったのと同様に、ここイスラエルで、ベンジャミン・ネタニヤフに対して敵対行動しています。

彼らは、小さな事実を捻じ曲げて、巨大な崩壊のような話に見せかけ、まるで、イスラエル国民に対する裏切り、反逆のように見せかけています。ネタニヤフは空港への道中、イスラエルのニュース・スタジオに立ち寄りました。ここは、彼がこの4年間、一度も訪れた事のない場所です。そこが、どれほどフェイク・ニュースの発信源であるかを、彼は知っていますから。しかしネタニヤフは、非常に重要なインタビューに答えて、この数日間に、彼らが公に垂れ流してきた、全ての嘘や欺きを明確にしました。

ネタニヤフは今、AIPAC (アメリカ・イスラエル公共問題委員会)で 演説する為、また、トランプ大統領との会談の為 アメリカに向かっています。今週は、彼にとって、非常に重要な週となります。

こちらに戻ってから 彼は、ブラジルの ボルソナーロ大統領 を迎えます。希望は もちろん、ブラジルの大統領が、ブラジル大使館のエルサレム移転を 発表する事です。しかしながら ブラジルでも、全く同じ勢力、治安部隊、政治、メディア、エンターテインメント、それら全てが「これは大きな間違いを犯す事になる」と言っています。ボルソナーロは現在、この種の決議が 彼の議会で通過するかどうか 定かではありません。ですから、彼がそれを宣言するかどうか 私達には分かりませんが、彼がそれを望んでいる事を 私達は知っています。

私に言える事は 今、私達は、トランプ大統領と ネタニヤフ首相の間に ものすごい類似点を見ているという事。全ての上層部から、前代未聞の反対が起こっています。覚えていてください。これは 新世界秩序、世界統一政府によって綿密に仕組まれ、十分に資金提供された動きです。裕福な実業家と、銀行家一族が、何十億ドルという資金をつぎ込んで、アメリカ合衆国からはドナルド・トランプを、イスラエルからはベンジャミン・ネタニヤフを 始末しようとしているのです。なぜかと言えば、この2人は 世 が「世界統一システム」に向かう動きにとって問題だからです。これが 私達が今、周辺で目にしている問題です。

皆さん、トランプ大統領が明らかにしようとしている 和平案についてお伝えしたいのは、トランプ大統領は 次のことを理解しているという事です。彼を大統領にした力は、他のどの集団でもなく、アメリカ合衆国内の 福音派のクリスチャンです。それからまた、彼は 次のことも 理解しています。彼が「親イスラエル派」になればなるほど、彼は これらの人々から愛され、支援を受けるのです。ですから 私は、どう考えても、大使館をエルサレムに移し、ゴラン高原が イスラエルの領土であると 認識した その大統領が、エルサレムを分断して パレスチナ国家を創るとは、想像出来ません。実際、私は事実として知っていますが、2 国案についての話は 正確には交渉台の上にはありません。

私達は、理解しなければなりません。

現在、ゴラン高原の決断だけを見ても「国土と引き換えに平和を」という考えは、中東では上手く機能していないのです。既に ガザで私達は見ています。私達は、あの地域を明け渡しましたが、その見返りに何を受けたか。私達は 理解しています。アラブ人達は、もう土地を要求する立場にはないのです。

今、私達が話し合う事が出来るのは、アラブ人達の自らの人生運営を、私達イスラエルが いかにして助けるか。彼らの経済が良くなるように 良い人生、良い教育、保健システム、そういった事を 我々が いかにして助けるか、です。土地を平和と引き換えにするというのは、もはや 筋が通りません。事実 イスラエルは、この 52 年間 ゴラン高原に留まって来たのです。そして 今 私達は、世界最大の国に「ゴラン高原は 我々の領土」と承認される段階まで至った事、つまり、屈する事なく自分の立場に留まり続けた事が、最終的な勝利になったと示しています。

和平案がどんな内容なのかを理解するのは、非常に簡単です。

私達は、強い立場から出ます。弱さではなく。私達は、ただ無責任な事を行いません。まず我々は、確実にアラブ界がまとまるようにします。それによって何らかの形で、パレスチナ人の 生活が向上するよう、手助けをします。それから、もちろん私達は、可能な解決策について話し合います。しかし今の所 全ての解決策は提示され、実験までされ、そして 全て失敗に終わっています。ですから 私達は、枠を超えて考えなければなりません。これが まさに、トランプ大統領が行なっている事で、彼は 世界に告げているのです。

「見なさい。20 年以上 私達は、2 国解決案に取り組み パレスチナ当局に対応しようとして来たが、それは 上手く行かなかったのだ。それは イスラエルにとっても機能せず、同様に パレスチナ人にとっても、それは機能しなかった。我々は、考え方を変えなければならない。我々は 恐らく、違う土地をパレスチナの土地として 与える事を考えるべきだろう。エジプトやヨルダンと 土地を交換するのが、良い解決策に繋がるかも知れない。また 我々は、現存する いくつかの組織や団体を 解散させ、全く違うものを生み出す事を 考える必要があるだろう。」

パレスチナ独立国家に関する話し合いは、交渉台の上にはありません。

私達は、理解しなければなりません。完全な独立国家という立場は、この 20 年以上 上手く行かなかったのです。だから 恐らく、現在の状況の解決には、異なる解決策を見つけるべきでしょう。

皆さん、もう一つお伝えしたいのは、

イスラエルの国境沿いにおいて、イランが ヒズボラに 新たな前線を始めさせようとしていた 計画と、悪巧みを私達は暴露しました。イスラエルは それを暴露、明らかにした事、また 我々には必要に応じて攻撃する権利がある事を発表しました。

また、私達が知っているのは、ISIS は 現在、現地でアメリカの援護を受けている 勢力によって、完全に滅ぼされました。この同じ軍隊が あちらに残り、ISIS だけでなく、イランも居なくなるようにします。

アメリカは、イランとバイルートを繋げる 土地ができないよう、非常に力を入れています。まさに このために、ゴラン高原が イスラエルの領土であると認識すること、そして、シリアからイランの活動を廃除

する事を、認める動きが 現在起こっているのです。これが、ずっと大きな動きの一部なのです。何とかして アサドが倒れるようにする為、それと もちろんイランをここから排除するための、経済的、軍事的、政治的な動きです。

皆さん、トルコの大統領の 口撃も、また興味深かったです。

彼は現在、何というか、目の前で起こっている事に かなりパニックになっています。何よりもまず、彼が軽く見られています。ニュージーランドのテロ襲撃で 彼が言った事でさえ、彼は 直ちに謝罪しなければなりません。彼は、全ての情報を、持っては いませんでしたから。

ニュージーランドのテロと言え、一つ、お伝えしますと、

あの襲撃以来、ニュージーランドは すっかり変わってしまいました。あれが起こった直後に、私はそう言ったと思いますが、メディアがこれを取り上げ、捻じ曲げて、この全てから、まるでイスラムが「平和を愛する宗教」であるかのように 好感を持たせるようにしました。今 起こっている事は、前代未聞です。ニュージーランドのメディアは、全国放送のラジオやテレビで、ニュージーランド中に祈りを呼びかけました。テレビ司会者は ヒジャブを被り、現地レポーター達は ヒジャブを被り、葬儀を警備している女性警察官達も ヒジャブを被っていたのです。イスラムが攻撃を与えている場所では、世界のどこでも、このような事を、かつて見たことがありません。

しかし、皆さんに言うておきます。

私の先週のアップデートを 覚えていらっしゃるでしょうか。

このテロ襲撃は、イスラムやキリスト教が目的ではなく、これは 移民と白人 という人種の違いが全てです。そしてこれは、白人至上主義者 による犯行です。白人の人種を絶滅させるために、移民が入って来ている、と信じている者の犯行です。それが全てです。彼が、自身の声明の中で、そう言ったのです。

発表した自分の文書の中で、彼自身がそう言ったのです。

それから、これらのモスクの世話をしていたのが ムスリムかどうかは全く関係なく、彼は乱射を行ったのです。中に居たのは、全員が移民でしたから。ニュージーランド生まれのニュージーランド人、ヨーロッパ系の白人は、一人も居ませんでした。彼は、慎重にあの標的を選んだのです。あれが、まさに 彼が語っていた事ですから。

ですから皆さん、現在 私たちが ニュージーランドで目にしているのは、前代未聞のことです。

しかし これは、私がいつも言っている「この世の君」に影響を受けた人々の 欺きの思想の一部です。私達が目にしているのは、何かが起こる度、それをメディアが取り上げて、人々を 全く逆の方向に洗脳しようとする働きです。私は先週も言いましたが、もう一度言います。

ケニアでも、それからナイジェリアでも、ムスリムによる クリスチャンの大虐殺は、世界のどこでも、2～3時間以上 報道される事はありませんでした。ケニアでは 学校内で 100人以上の生徒が襲撃され、イスラム・テロリストに殺されたのです。しかも、誰がクリスチャンで、誰がムスリムなのか、全体を調べ分

けたのち、クリスチャンだけ 一つの場所に集められて、その場で 大量虐殺されたのです。私は、非難の声を一切聞いていません。世界中で声を上げるのを、私は一切聞いていません。その事件の為に、人々が十字架を身につけて、教会からの祈りが世界中に放送されるのを 一切見ていません。一つの宗教を敬愛し、もう一方の宗教を見捨てる。このような全世界の「ご都合主義」には本当に驚愕します。

それから皆さん、理解しておいてください。アメリカ合衆国でさえ 同じことを目にしています。あろうことか、イスラムを敵視するようなことを言えば、テレビ番組が中止されるのです。

Fox ニュースでさえそうです。 Judge Jeanine が、知っていますよ。

しかし 全てのテレビ局で、イエスに関しては 何を言っても問題にならず、クリスチャンに関しても、何でも好き放題に言えるのです。そして彼らは、常に クリスチャンを テロリストと結びつけ、クリスチャンを 白人至上主義と結びつけ、クリスチャンを 人種差別主義と結びつけます。彼らは、それをする事には 全く問題ないのに、あろうことか、他の宗教に関して 何かを言えば、彼らは敏感に反応します。これは非常に気がかりです。

ただ 最後にまとめとして、皆さんにお伝えしたいと思います。我々が 現在 目にしているのは、世界が いかにして「反キリスト」そのものに欺かれるか、その行程の ほんの^{あじみ}味見程度です。

彼は ものごとをひっくり返し、彼は 人々を洗脳し、人々は ミニオン（アニメ映画のキャラクター）のように、彼の思うままに動くようになります。メディアがそう言っているから、ハリウッドがそう言っているから、エンターテイメントがそう言っているから、政治家がそう言っているから。経済や、政治に関して、全く知識のない 狂った政治家達が、今や 牛耳っていますから。皆さん、言うておきます。

現在 私たちが目にしているのは、近い将来 起こる事を、ほんの少し味わっているのです。

私たち全員が、ひざまずいて 祈らなければなりません。

私達は^{ものごと}物事が悪化する前に、ここを出て行きます。

皆さんは、「不法の秘密がすでに働いている」のを 既に目にしているのです。

そして 現在、彼（反キリスト）が 自身を明らかにするのを 引き止めているのは、唯一 私達が、まだここに居るという事実によってであり、そのことが 神の裁きが下されるのを、引き止めているのです。

しかし、ひとたび、私達がここから出て行くと・・・

すぐにそれが起こることを望みますが、^{ものごと}物事が 非常に急速にエスカレートします。

皆さん、最後にお伝えしたいのは、

トランプ大統領が先週、彼の和平案のことで、クリスチャンの指導者達を 大勢集めました。

言い換えれば、大統領は イスラエルの選挙の直後に それ（和平案）を 明らかにする前に、彼らの支持が必要であることを理解しています。皆さん、言うておきます。彼らの中の 誰一人として、そこで聞いた事に 不安を感じた人はいません。 Jason Greenblatt から、ペンス副大統領にいたるまで。ただ イスラエル国内のある領域が、パレスチナ人達によって統治されるという考え方に関しては、誰も賛成しませんでした。

しかし 私に言えるのは、70年、80年前と同様に、今回もまた、彼らは「機会を逃す機会を、絶対に逃さない」でしょう。皆さんも、それを期待して大丈夫です。まさにそれが起こりますから。という事で、ゴラン高原に関して、非常に素晴らしいニュースです。国際的な出来事に関して、素晴らしいニュースです。

なぜなら 私達、神の民には 見え、匂い、感じる事が出来ますから。私達が、すぐに ここを出て行く準備が 整いつつあるだけではありません。この24時間の間にさえ、産みの苦しみが激化しています。コロンビアで M (マグニチュード) 6、数時間後にはインドネシアで M6.3 の地震が起き、タイでは津波警報が出ました。事態は激しさを増しています。ですから私達は、産みの苦しみを目にしている、もう一方では 人々が幻想を見ているのを目にしています。

それから私達は、中東イスラエル北部で、あちら (シリア) の領土から襲って来る攻撃の準備が整うのを目にしています。私達は、非常に多くの歴史的な事を目にしている、その事に 私は非常に魅了されています。同時に、よく私は 人から「選べるなら、どの時代に生きたかったか?」と聞かれますが、私はいつも「今が、最も魅力的な時代です。」と答えます。今は、終わりの日です。今は、ただの「終わりの日」ではなく、私は、今は「終わりの時間」だと信じています。終わりの日の、終わりの時間の、終わりの分です。だから、私は 超ワクワクしています。

私のすぐ後に見えているのは、オリーブ山です。
キリストが、この山から昇天されました。

もう一つ、皆さんに知っておいて欲しいのは、一旦 私達がここを出て行くと、7年後に 私達は彼と共に戻ってきます。彼は、ここ、この地域に降り立たれます。そして、オリーブ山が二つに裂け、その真ん中、東から西へ大きな谷が出来ると、聖書は告げています。

皆さん、言っておきます。

これは、私にとって、今までにないほどに現実的です。皆さん全員にとっても、そうだと信じます。

どうか「携挙」と「再臨」を混同しないでください。

携挙は、教会のために。再臨は、教会と一緒にです。

ですから 主は、まず私達を迎えに来てくださり、私達は 主にお会いします。

この雲を見てください。この雲が見えますか?

集合場所は、ここではありません。これらの雲の中です。

聖書は、第一テサロニケ 4章で そう告げています。

「... 私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に 一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも 主とともにいることになります。」 (第一テサロニケ 4:17)

しかし、主の再臨について、聖書は、ゼカリヤ書 12章、14章で 物理的に、主の御足がオリーブ山に降り立

つと告げています。

そして、再臨については、

主はその聖徒と共に戻って来られると 告げています。

ですから、これらは2つの異なる事について 語っているのです。

私達は、主の教会として、ここから連れ去られるのを待っています。

しかし7年後、私達は喜んでこの地に戻って来て、そして、主と共に裁き、エルサレムから統治します。

私の背後に見える、あの、エルサレムです。

今は夕方、日が沈もうとしていて、私の背後は、どんどん暗くなって来ています。世界も、私たちも周辺で、どんどん暗くなって来ています。しかし皆さん、どうか雲を覚えていてください。

聖書は、告げています。

「上にあるものを求めなさい」 (コロサイ 3:1)

コロサイ人への手紙を読むときは、いつも、皆さん、これを覚えていてください。

「上にあるものを求めなさい。」 時に、「上にあるもの」というのは、上で起こる事だけではなく、しかし、物理的に上にあるものです。それを、私達は確実に求めています。

なぜなら、聖書は、コロサイ人への手紙3章1節で、このように告げています。

**「こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、
上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが ... おられます。」 (コロサイ 3:1)**

主はどこに居られますか？ 上です。ここではなく。「この世の君^{きみ}」は、キリストではありません。今は、残念ながらサタンです。

しかし、キリストは私達の心を支配しておられ、彼は、私達の心に住んでおられます。しかし、

**「... そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。
あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。」 (コロサイ 3:2)**

ですから、私達は、私のすぐ後にある、地上のことを話していますが、しかし私達の思考、私達の希望、私達の願いは、上にあるものを思います。私が、この雲を指差している写真を撮って、覚えていてください。これです。ここが、私達の集合場所、ここが、私達の行く場所です。この時、初めて、地上の信者全員に会うのです。最高の、最も素晴らしい集会になります。

しかし、その集会で私達は、この世と別離し、

つまり私たちは、ここを出て、この世と隔離されて、雲の中で主とお会いするのです。

私達は、ずっと上まで連れて行かれ、7年間、主と共にいます。そして、彼が白い馬に乗って戻ってこられる時、私達は、彼のすぐ後ろにいて、このオリーブ山に降り立ちます。そして、エルサレムの地勢は、劇的に変わります。

オリーブ山が裂けるだけではありません。聖書は、神殿の丘から水が流れると告げています。神殿の丘から、はるか死海まで流れ、死海が生き返ると言います。半分があちらに流れ、半分は地中海に流れます。全部、エゼキエル 47 章、48 章に書かれています。それと、ゼカリヤ書 14 章にもありますから、ご自身でご確認ください。地勢の変化について話しましたが、政治的な変化、霊的な変化も、素晴らしいものになります。しかしその時まで、私達の希望、私達の思い、私達の夢、私達の願いは、この地上ではなく、上にあるものに向けられるべきです。素晴らしいですね。

皆さんが、この言葉に 大いに励まされたことを願います。そろそろアロンの祝福をもって、締めくくりたいと思います。繰り返しますが、皆さん、ぜひ、トロントのカンファレンスに登録してください。5月11日です。その次の、デンバーでのカンファレンスは、残念ながら、席が埋まってしまいました。インドネシアや、オーストラリアのパース、メルボルン、あとニュージーランドのオークランドでカンファレンスを予定しています。それから、2020年には大きなサプライズを用意しています。あと2~3週間の内に、全部が整い次第、皆さんにお知らせします。では、アロンの祝福で締めくくりましょう。

ヴェイシエメレハー	アドナーイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール	
וַיְחַנְּךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר	
..(主が)あなたを恵まれますように		あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー	
שְׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׁם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא	
平安を	あなたに	(主が)賜るように		あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書斎 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー

ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー

イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

私達の全ての理解を超える平安を、平和の主ご自身が、どんな場合にも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。
主の御名によってお祈りします。 アーメン。
以上です。

インスタグラムで私をフォローしてください。 BeholdIsrael です。
フェイスブックも Behold Israel ユーチューブとツイッターも Behold Israel
引き続き、私達と繋がっててください。
ありがとうございます。 God bless you!
偉大なる王の町、エルサレムより、シャローム！

来たるカンファレンスについては、私達のウェブサイトをご覧ください。 BeholdIsrael.org です。
そこから登録もして頂けます。情報が出ていない場合は、私達にもまだ分かりません。
記載されている場合は、ご利用ください。
ありがとうございます。 God bless you!

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>